

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成18年2月9日(2006.2.9)

【公開番号】特開2004-263037(P2004-263037A)

【公開日】平成16年9月24日(2004.9.24)

【年通号数】公開・登録公報2004-037

【出願番号】特願2003-53473(P2003-53473)

【国際特許分類】

C 0 9 K 19/38 (2006.01)

G 0 2 B 5/18 (2006.01)

G 0 2 B 5/30 (2006.01)

G 0 2 F 1/1335 (2006.01)

G 0 2 F 1/13363 (2006.01)

【F I】

C 0 9 K 19/38

G 0 2 B 5/18

G 0 2 B 5/30

G 0 2 F 1/1335

G 0 2 F 1/13363

【手続補正書】

【提出日】平成17年12月19日(2005.12.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

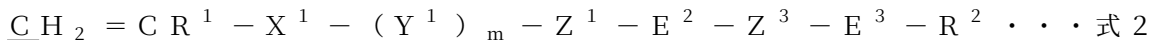
【補正対象項目名】0032

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0032】

化合物1としては、式2で表される化合物が好ましい。



(-Ph-CO-を有する化合物は含まない。)

R^1 、 X^1 、 Y^1 、 Z^1 、 E^2 、 Z^3 、 E^3 、 R^2 は、それぞれ式1の場合と同じである。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0055

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0055】

[例3：化合物1を含む液晶組成物の調製および高分子液晶（位相差板）の作製]

化合物8、化合物9、化合物10、化合物11を用いて組成物B2を作製した。組成物B2の組成比はモル比で、 $\text{A1}:\text{A2}:\text{A3}:\text{A4} = 0.4:0.4:0.1:0.1$ であった。組成物B2は室温でネマチック液晶であり、 T_c は91.7℃であった。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0058

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0058】

[例 4 : 化合物 1 を含む液晶組成物の調製および高分子液晶（位相差）の作製]

化合物 8、化合物 9、化合物 10、化合物 11 を用いて組成物 B3 を作製した。組成物 B3 の組成比はモル比で、 $A1 : A2 : A3 : A4 = 0.1 : 0.1 : 0.4 : 0.4$ 、であった。組成物 B3 は室温でネマチック液晶であり、 T_c は 92.5°C であった。